

令和5年度鳴門市学園都市化構想実施計画における教育研究活動一覧

教育研究活動名等	継続・新規の別等	内 容	実施学校・園	実施学校・園 担当者	鳴門教育大学 担当教員	備考
①生徒一人一人に応じた特別支援教育 【2.3) 生徒指導】	継続 (R4～)	障がいのある生徒の自立や社会参加を図るために、一人一人の障がいの種類や特性に配慮しながら、一人一人に応じたきめ細かな指導方法を中学校教員と連携し模索する。	鳴門中学校	鳴門中学校 校長 中山 祐次	特別支援教育コース 伊藤 弘道 教授 小倉 正義 教授	
②楽しい水泳指導 【2.2) 学力向上】	継続 (R4～)	水泳指導において従来の指導法だけの固定概念に捉われずに柔軟な考え方を学び、指導のバリエーションが増えることで、児童の個性に対応するような指導方法を模索する。	鳴門西小学校	鳴門西小学校 校長 内田 洋一	松井 敦典 教授 保健体育科教育コース	
③幼児が進んで体を動かそうとする意欲を育てる保育実践「あそびのポケット」 【2.1) 幼児教育・保育】	継続 (H31～)	季節や行事に合わせた伝承遊び、リズム体操、手遊びなどを幼児といっしょに遊びながら、体を動かす気持ちよさを感じることを目的とする。定期的に「あそびのポケット」の活動を学部生・大学院生とともに実施する。	認定こども園IZUMI	認定こども園IZUMI 園長 野崎 真紀	湯地 宏樹 教授 幼児教育コース	
④発達障がい等を中心とした支援を要する園児に対する理解についての研修会、教育相談 【2.1) 幼児教育・保育】	継続 (H30～)	発達障がい等、気にかかる園児について職員研修を実施する。具体的な支援方法を協議し、日々の園児支援や保護者相談に生かしていく。	認定こども園IZUMI	認定こども園IZUMI 園長 野崎 真紀	特別支援教育コース 伊藤 弘道 教授 小倉 正義 教授	
⑤幼児期における運動遊びについて 【2.1) 幼児教育・保育】	継続 (H30～)	本年度、幼児の体力調査を実施したところ、園児一人ひとりの能力の個人差が大きいことが分かり、体幹機能や粗大運動の器用さについて見直していく。	認定こども園成稔	認定こども園成稔 園長 美保 みどり	湯口 雅史 教授 保健体育科教育コース	
⑥保幼小連携推進研究事業 【2.1) 幼児教育・保育】	継続 (H27～)	保幼小における発達や学びの連続性を踏まえた円滑な接続を目指し、園児、小学生が鳴門西小学校において本学学生と共に自然体験活動を行い、その活動を通じて異年齢交流を行う。	鳴門西小学校 認定こども園IZUMI 認定こども園成稔	鳴門西小学校 校長 内田 洋一 認定こども園IZUMI 園長 野崎 真紀 認定こども園成稔 園長 美保 みどり	幼児教育コース ○湯地 宏樹 教授 佐々木 晃 教授 田村 隆宏 教授 塩路 晶子 教授 木村 直子 准教授	
⑦支援を要する児童に応じた特別支援教育 【2.3) 生徒指導】	継続 (R4～)	生活上や学習上の困難を改善・克服できるように、適切な指導や必要な支援が行えるよう、支援を要する児童一人一人の教育的ニーズを把握し、きめ細かな指導方法を小学校教員と連携し模索する。	鳴門東小学校	鳴門東小学校 校長 浅山 直慰	特別支援教育コース 伊藤 弘道 教授 小倉 正義 教授	

※ ○印は、代表者を表す。

※ 対象の学校園 → 鳴門中学校、鳴門東小学校、鳴門西小学校、認定こども園IZUMI、認定こども園成稔

※ 上記の教育研究活動の詳細については、鳴門教育大学学術情報推進課教育連携企画係 (Tel 687-6101) にお問い合わせください。